

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0102006

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	21 情報通信網の整備・充実	事業優先度	C	
単位施策	2 行政情報化の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町公共ネットワーク整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	1 総務課	
事業主体	雄武町	関係課	8 保育所	
事業指標	公共施設(学校を除く)間のネットワーク構築、各種機器の計画的更新		#N/A	
事業目標	サーバー:一式、クライアント:110台 ネットワーク環境整備	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	公共施設間のネットワーク構築、情報機器の計画的な更新を行い、情報の共有化及び伝達の即時性などによる業務の効率化を図る。	ネットワーク等管理パソコン更新 ネットワーク監視システム導入 クライアントパソコン等更新	ネットワークサーバ等更新 自営光ネットワーク構築 (統合保育所)	ネットワーク環境整備 (庁舎別館、J-ALERT関連)	業務システムクラウド化検討 ネットワーク再構築業務委託 (教育施設通信網一元化)  統合型GIS導入検討	業務システムクラウド化検討  統合型GIS導入検討	
	事業費(千円)	31,639	17,492	8,296	5,200	651	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	18,501	11,330	7,171			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	13,138	6,162	1,125	5,200	651		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	31,153	17,492	8,159	4,872	630	
	財源内訳						
	国庫支出金	11,330	11,330				
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	19,823	6,162	8,159	4,872	630		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 地域活性化生活対策臨時交付金	【評価・実績】	(実施内容等) ネットワーク等管理パソコン更新 ネットワーク監視システム導入 クライアントパソコン等更新  ※前年度評価結果	(実施内容等) ネットワークサーバ等更新 自営光ネットワーク構築 (統合保育所)  ※前年度評価結果 A-終了	(実施内容等) 庁舎別館ネットワーク構築 J-ALERT連携ネットワーク構築 センター設備冗長化  ※前年度評価結果 A-終了	(実施内容等) 業務システムクラウド化検討 ネットワーク再構築業務委託 (教育施設通信網一元化) 統合型GIS導入検討  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
			(実施内容等) 業務システムクラウド化検討 業務システムクラウド化検討 統合型GIS導入検討  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持				
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	サーバー更新	サーバー更新、自営光構築	機器更新、各種設定・構築	再構築、各種検討	各種検討
		年度達成率	100%	98%	94%	97%	#DIV/0!
		全体達成率	55%	81%	96%	98%	98%
	事業進捗状況	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	

事業名 雄武町公共ネットワーク整備事業	評価者 管理職 職氏名	総務課長	原 正美
	評価者 作成者 職氏名	情報統計係長	樫山 隆志

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公共ネットワーク	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	業務システムの運用方式の検討								
【抱える課題やニーズは】	庁舎内各課及び町内に点在する行政施設との情報共有、即時性の高い情報発信等による行政サービスの向上。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	機器更新、ネットワークの再構築等により、サービス水準の向上及び効率化を図り、生活環境・生活基盤の充実を推進する。	① 業務システム運用方式等に係る研修会の参加	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1回	実績値	1回	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1回										
実績値	1回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	協働のまちづくりのための情報発信や業務の効率化が図られ、また、情報資産管理に対する意識の向上を推進する。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	業務システム運用方式の検討	業務システムクラウド化や仮想化による横断的運用による経費圧縮や、統合型GISの導入による業務効率化の効果等を検討するため、研修会に参加した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	重要な情報資産を高水準のセキュリティにより管理するため、情報機器及び通信の一元的管理は効果的であり、更なるセキュリティ向上や業務効率化に向けても継続的検討・研究が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	業務システムのクラウド化や統合型GISなどの研修会に参加し、本町のシステムへの運用についての検討を行った。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	職員自らが研修会等に参加し業務運用方式等について検討することで、費用をかけずに検討が行えたことは効率的であったと判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

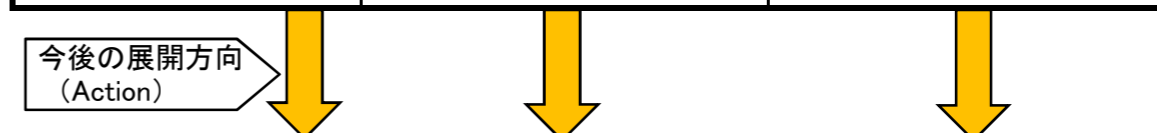
公平	判断の理由	業務システムのクラウド化や統合型GISを導入した際には、業務の効率化が図られるとともに、住民サービスの向上につながるものであることから公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
業務システムクラウド化や統合型GISの導入などについて検討を行った。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
次年度以降についてもさらなる検討を重ね、将来的な展開方向について方針を決定させる必要がある。	同左	

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止